

詰連珠ドリル

【初級編②】

サンプル

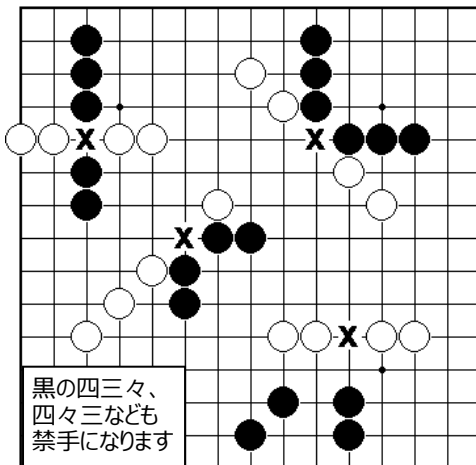
出題：河村典彦九段

2023年11月1日発行

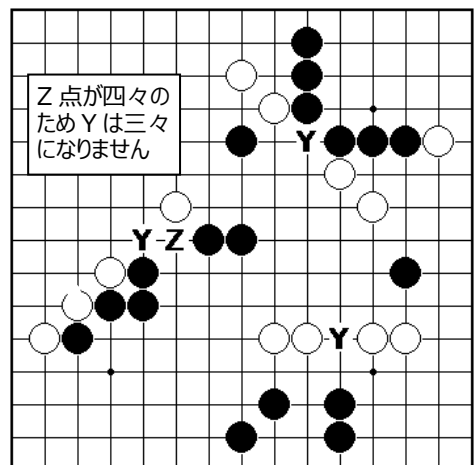
【連珠のルール】

- 連珠盤（15×15）を使います
- 黒石と白石を使います
- 黒が先手、白が後手で交互に打ちます
- 黒は最初に中央の「天元」に打ちます
- 縦、横、斜めのいずれかに早く「五連」を並べた方が勝ちです
- 黒にのみ、三々、四々、長連の禁手があります
白は黒に禁手を打たせても勝ちです

【禁手の例】



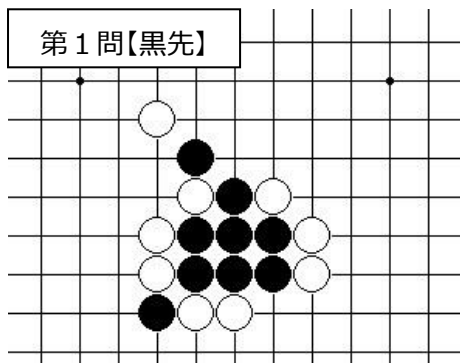
【禁手にならない例】



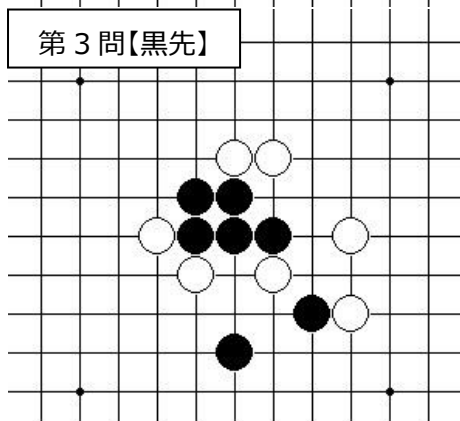
詰連珠ドリル、初級編をまた 100 問作成しました。①と同じくそんなに難しい問題は
ありません。基本的には三・四三で勝つ問題となっており、いわゆる「三手の読み」が必
要となってきます。この問題がスラスラ解けるようになってきたら、基本的な勝ち方がわ
かるようになり、実戦で勝てるようになってきます。ノリ手や禁手を理解するのも役に
立ちますので、繰り返し解いていただくことをお勧めします。

今回も黒先問題を 70 問、白先問題を 30 問合計 100 問をご用意しました。各問
題にヒント、解答にはちょっとした解説をつけていますので、初心者の方もこれを読んで
基本の勝ち方をマスターしてください。実戦では、四や三を見落とさない、勝ちがある時
にしっかり勝つ、ということだけを注意すれば、級位がどんどん上がっていきます。

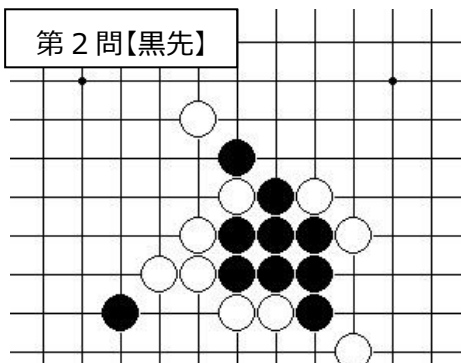
では、詰連珠の世界、楽しんでください！



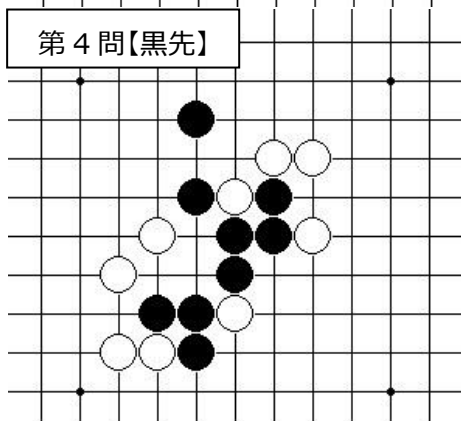
ノリ手に注意が必要です



三を打つ場所が重要です



第 1 問とは筋が違います



トビ三で攻めます

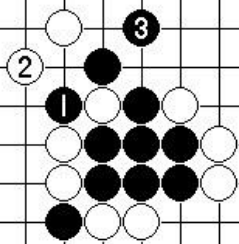
詰連珠を解くコツ

- ・四ができる場所に注目する
- ・ノリ手（止めた手が四や三になる手）や禁手に注意する
- ・トビ四、トビ三、斜めの筋は見づらいので特に意識して見る
- ・わかったと思っても、頭の中で再度確認する

この初級編は比較的に勝てる問題ばかりなので勝ち筋が見える場合も多いですが、即断してしまうとノリ手を見落としやすくなります。斜めのノリ手などは見えにくくなっていますので、要注意です。間違えた問題を再度やってみるのも上達のコツです。

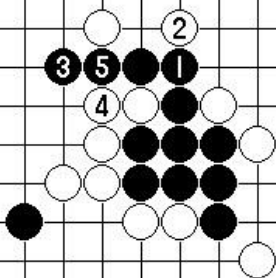
● 解答

第 1 問【黒先】



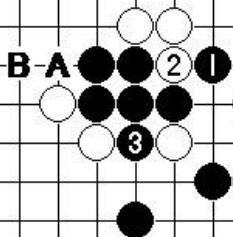
黒 1 を 2 はノリ手になります

第 2 問【黒先】



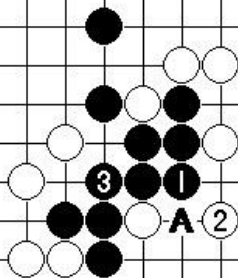
黒 1 を 2 はノリ手になります

第 3 問【黒先】



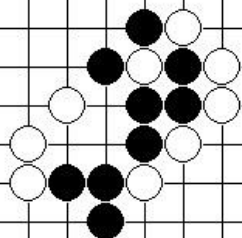
黒 1 から A 後 3 では、白 B と止められてノリ手になります

第 4 問【黒先】



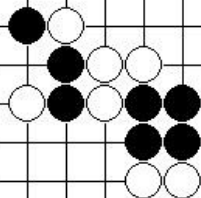
黒 1 を A、白 3 に止められ、ノリ手で止められてしまいます。

第 5 問【黒先】



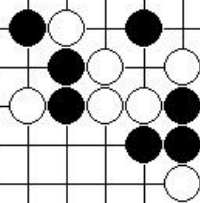
四々を打たないように

第 6 問【黒先】



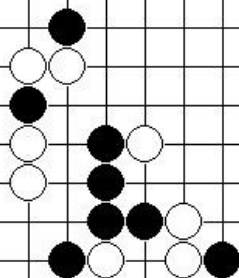
三・四三ですがノリ手に注意

第 7 問【黒先】



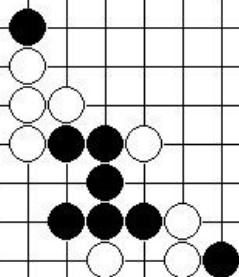
同じく三・四三ですが違う筋です

第 8 問【黒先】



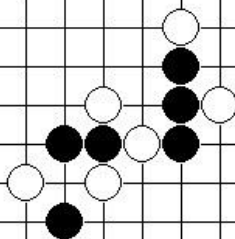
トビ三で大きく展開します

第 9 問【黒先】



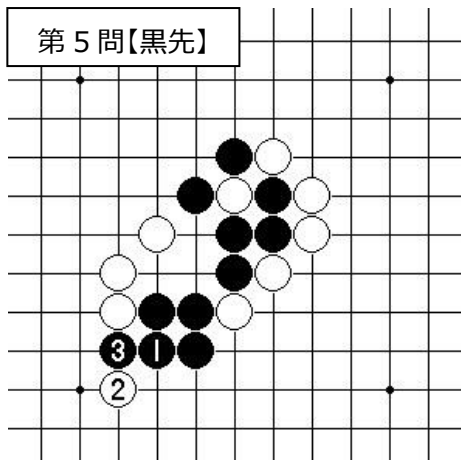
四迫いでノリ切り勝ちです

第 10 問【黒先】

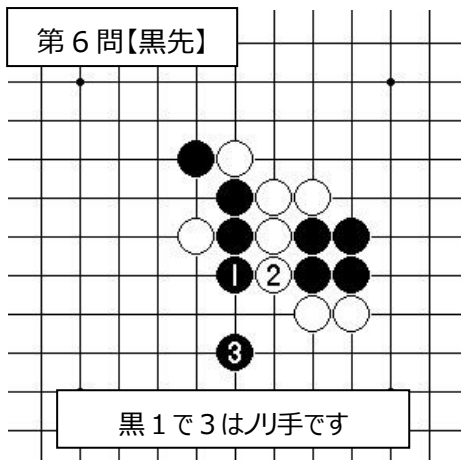


三々を打たないように

第5問【黒先】

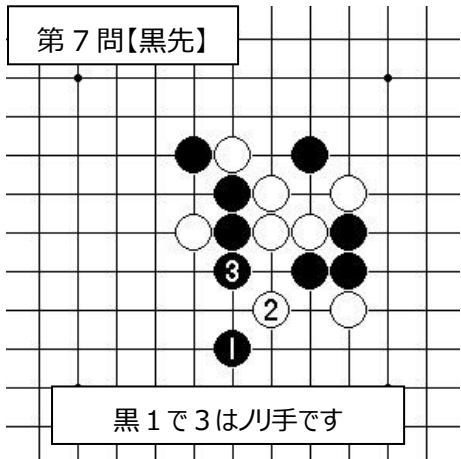


第6問【黒先】



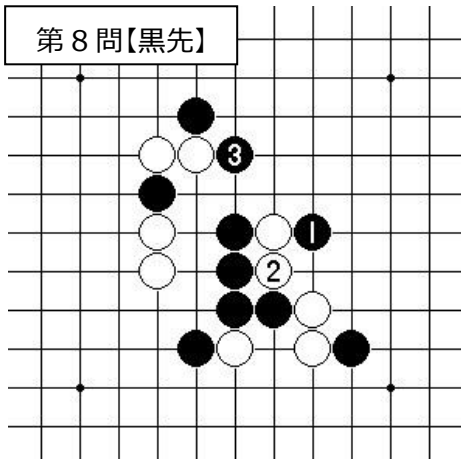
黒1で3はノリ手です

第7問【黒先】

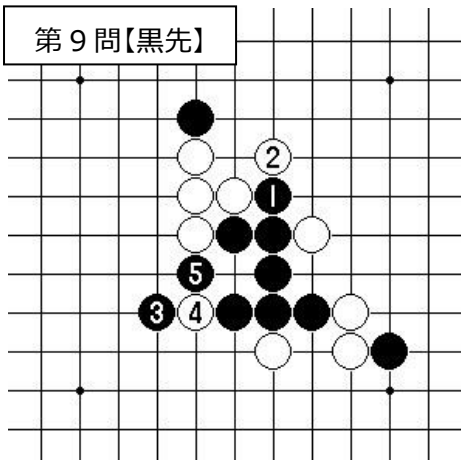


黒1で3はノリ手です

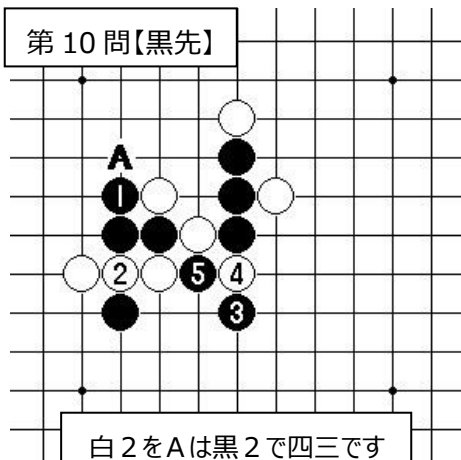
第8問【黒先】



第9問【黒先】



第10問【黒先】



白2をAは黒2で四三です